

一部調整中

飯山市第6次総合計画 前期基本計画（素案）

市民意見募集（パブリックコメント）の結果と市の考え方・対応（案）

案 件 名	飯山市第6次総合計画 前期基本計画（素案）		
募 集 期 間	令和5年2月1日（水）～令和5年3月2日（木）		
意 見 の 提 出	3件（3名）		
市の考え方・ 対応	修 正	素案を修正するもの【区分1】	1件
	参 考	今後の取組みの参考とするものや、ご意見として伺うもの【区分2】	2件

意見と市の考え方・対応

NO	頁	項 目	意 見	市の考え方・対応
1	-	成果指標	成果指標について 成果指標とは、そもそも「目的の達成度を測る物差しであり、政策を実施するにあたり、成功か失敗を明確に判明させるもの」であると認識します。併せて、市民の視点に立った成果指標であることが前提であります。 飯山市が実施するこれからの5年間の施策であるため、5年後に施策を検証するためにも、人数、数、金額など客観的な観点で成果指標は、示すべきであります。 市民は、客観的な指標より、施策の可視化を求めています。 なお、客観的成果指標だけでは、不十分な場合のみ、間接的に達成度を測る「満足度」を使用すべきであります。 全体的に、「満足度」にて成果指標としている施策が多すぎます。 全体成果指標49指標のうち、26指標が間接的指標（満足度）でありました。（53%） そして、「満足度」も含めた各成果指標の根拠は、示すべきであります。	・前期基本計画の施策体系は、行政分野＞施策で構成されています。また、施策には複数の事務事業がぶら下がり、その事務事業の評価は3カ年実施計画の中で、「事務事業評価」として実施しております。 ・ご指摘の前期基本計画の「成果指標」の考え方ですが、これまでの基本計画は、施策や取組毎に成果指標を掲げており、当該行政分野そのものの成果が見えづらいという反省点から、新たな前期基本計画では、「行政分野」として成果を測る指標を掲げることとし、市民満足度など誰もが見て納得のいく分かりやすい指標を設定することとしました。 ・ご指摘の「施策の可視化」については、新たな総合計画のスタートに合わせ、より広い「行政評価（行政分野の評価）」の視点を新たに取り入れ、この中で、これまでの事務事業評価に加え、施策や行政分野を一体的に評価・可視化していくこととします。 ・なお、その評価については、ご提案いただいた「人数、数、金額」など適切な成果指標を事務事業に設定し実施してまいります。 ・これにより、前期基本計画に掲げた市民満足度など毎年把握することができない行政分野の評価については、行政分野に掲げた施策に紐づく事務事業の成果指標を基に、施策とともに毎年評価してまいります。 ・なお、満足度の目標数値の設定根拠は、現状値により以

NO	頁	項 目	意 見	市の考え方・対応
				下のとおり設定しております。 ご指摘を踏まえ、資料編に「成果指標一覧」を追加し、目標値の考え方等を明示します。 <満足度の目標数値> 現状値（％）⇒毎年の増加（％）【５年間の増加（％）】 0～9 ⇒1.5【7.5】、10～25⇒1.0【5.0】、26～50⇒0.5【2.5】、51～70⇒0.3【1.5】、71～⇒【維持】 【区分１】
2	23	デジタル化 （将来像）	10 年後の姿に「まちづくりの各分野にデジタル技術が活用されていて、生活利便性やまちの魅力が向上しています。」とあります。新聞報道などを見ると、様々な市町村や地域で「DX」に向けた新たな取り組みが進んでいます。このような地域は、魅力的であり「住んでみたい」と思うきっかけにもなると思います。飯山市はどのように考えているのでしょうか。 なお、飯山市には高齢者化が進んでいますが、是非、高齢者がスマホなどの IT 機器を使いこなしている“カッコいい高齢者”が増えている将来になること望みます。	当市においても市民生活を中心に様々な場面でデジタル技術を活用したサービスを構築するなどDX推進に関して研究してまいります。 また、総合戦略には、「高齢者等がデジタル機器やサービスの利用方法を学ぶことができる講座や講習会等を実施」を掲げ、「誰一人取り残さない取組」を進めてまいります。 【区分２】
3	48	魅力発信	移住や生活する上での情報や支援が分かりづらい（いわゆる縦割？）と常々感じている。市内外に向けて分かりやすい情報発信に努めてほしい。	分かりやすく、伝わりやすい情報発信の充実に努め、ホームページ等の改善を行ってまいります。 【区分２】